

「鳥取県立美術館ができるまで」 を伝える、 新たなメディア を考える。

【日時】

2018年

9月29日(土)

13:00~16:00

* 参加費無料 *

【会場】上灘公民館 研修図書室

〒682-0811 倉吉市上灘町9-1

【対象】高校生~一般

【申込】9月14日(金)8:30~

【定員】20名

【受付】0857-26-8045 鳥取県立博物館美術振興課まで

美術館オープンまでの間に、フリーペーパーやSNS等によって美術館建設の進捗状況を伝え、美術館の魅力や美術にまつわる情報などを発信していく計画としています。そこで、今回は、今注目の編集者で、多数のアートプロジェクトや刊行物等の編集を手掛けている多田智美(ただともみ)さんを講師にお招きし、多岐にわたる実践をもとにメディアをつくることについてお話していただきます。また、美術館建設予定地の視察やグループディスカッションなどを通して、みなさんと一緒にメディアをつくるプランニングを進めていこうと思います。



多田智美(編集者/株式会社MUESUM代表)

1980年生まれ。編集者、株式会社MUESUM代表。龍谷大学文学部哲学科教育学専攻卒業後、彩都IMI大学院スクール修了。“出来事が生まれるところからアーカイブまで”をテーマに、アートやデザイン、福祉、地域など、さまざまな分野のプロジェクトに携わり、書籍やタブロイド、WEB、展覧会やイベントなどの企画・編集を手がける。DESIGNEAST共同ディレクター(2008-)。京都造形芸術大学非常勤講師(2008-)。ウルトラファクトリーBYEDITディレクター(2008-)、XSCHOOLプログラムディレクター(2016-/福井市)、常滑焼DESIGNSCHOOL講師(2017-/常滑市)、「旅する、千年、六古窯」エディトリアルディレクター(2017-)。瀬戸内国際芸術祭2013 小豆島 醤の郷+坂手港プロジェクトでは、椿昇と原田祐馬とともに企画・運営を務める。共著に『小豆島にみる日本の未来のつくり方』(2014/誠文堂新光社)。『ローカルメディアの仕事術』(2018/学芸出版社)第2章の「チームづくりーともにつくる10か条」の執筆を担当。